國學院大學 経済学部

FACULTY OF ECONOMICS

●経済学科 ●経済ネットワーキング学科 ●経営学科

2018 学部案内

自分らしい人生の道を拓こう P1-2

社会で活躍する先輩たち！ P1-2

アクティブラーニングって何だろう？ P3-4

経済のグローバル化に対応できる
英語力を身につけよう！ P5-6

どんな授業・テーマが学べるの？ P7-8

3つの学科の特徴は？ P9～14

ゼミの学びが活きています！
輝く女性の先輩たち。 P15～18

もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

自分らしい人生の道を拓こう

経済学部長
橋元 秀一 教授

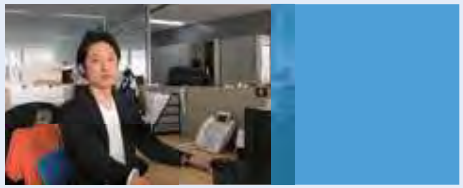
大学は自分で学び方を設計する場であり、社会人・職業人になるための大切な準備期間です。自分は何に興味や関心を持ち、何を学びたいのか、わかっていますか。将来どのような分野で働き、職業人生を歩んでいきたいのか見えていますか。こうしたことを自覚して大学生活を過ごすことができれば、自分らしく充実した人生へと道を拓くことができるでしょう。

最近の学生は、自分が何をしたいのか、何を学べば良いのか、将来どのような仕事に就き、人生を歩んでいきたいのかわからない、という人が大変多いと言われています。國學院大學経済学部は、そうした学生のみなさんと真剣に向き合いたいと考えています。自分らしさを大切にし、希望する学びに取り組む中で、将来を準備できるようになること、それが大学の重要な使命であるからです。そのため、大学で学ぶための基礎的なスキルを身につけ、自分の志向性を見つけながら自分に応じた専門的な知識を身につけていく学びを重視しています。また、自分の希望する就職活動がスムーズにできるようになるためのキャリア教育にも力を入れています。

具体的には、①1年次に学ぶスキルを身につけ課題解決に挑戦するグループワークに取り組むアクティブラーニング（基礎演習）、②本学部オリジナルテキスト『日本の経済』を使い、「経済とは何か」から始めて経済と経済学の基礎を学び、自分の好きな専門分野を見つけられるようにすること、③受験英語とは異なるネイティブスピーカーによる英語コミュニケーション授業（学内留学）、④コンピュータスキルの修得、⑤就職へ向け必要となる自己理解と学びを知るライフデザインなどがあります。みなさんが自分を知り、基礎力を固め、大学で何を学び、学ぶべきかを自らプロデュースできるようにしています。この土台をしっかり築き上げれば、2年次以降の専門的な学修やゼミ活動を通じて自分らしさを自覚しながらより深く学び、将来への準備も進めていけるようになるでしょう。しかも、1年次の基礎演習は20数名のクラス制、2年次後期から4年次の演習（ゼミ）は10数名以下の少人数制です。一人ひとりの個性を大事にし、それぞれに応じた学びを、教員は相談に乗り支援します。

こうした國學院大學経済学部での学びを通じて、自分らしさを自覚し、個性を発揮できるようになるための学生生活を追求しましょう。そうすれば、希望する将来をしっかりと準備することができます。みなさんの個性が発揮されてこそ、日本の経済社会は新しい発展が可能となっていくのです。それはどんな経済社会であるのか、みなさんと大いに論じたいと思います。

社会で活躍する卒業生



株式会社電通 勤務
倉 大輔さん
経済学科2005年3月卒業

現在のお仕事の内容を教えてください
現在、某アパレルブランド担当営業をしています。営業として、キャンペーン企画プロデュース、広告制作、PR・プロモーションプロデュースなどなど広告に携わるすべての領域に携わっています。広告代理店と聞くと、CM制作などの派手なイメージばかりが先行しますが、クライアントとのコミュニケーションが何よりも一番の仕事です。日々のコミュニケーションから出てくる課題やニーズをいち早く察知し、いかなる難題でも日々最前線で立ち向かって、クライアントのために活動しています。

経済学部の学びと仕事の接点は？
3・4年次のゼミの活動では、毎週の授業でその時どきの社会経済問題について分析しディベートを行っていました。テーマ設定からすべてゼミ生で考える形式でした。そのため自身の意見を考えるだけでなく、事前に他の人の意見を想定した回答を考えることや人の意見を聞いて考える力が身につきました。これは今の仕事で非常に大切なコミュニケーション能力をつけることができたと考えます。

後輩たちへメッセージをお願いします
将来の自分のために大学の4年間は、社会勉強ができる最後の時間と位置付けて、毎日全力で興味のあることすべてに取り組んでいました。大学にはいろいろなチャレンジをサポートしてくれる体制があります。それを活かして充実した学生生活をおくってください。

全日空商事株式会社 勤務（ANA X株式会社へ出向中）
村瀬 良介さん
経済学科2009年3月卒業

現在のお仕事の内容を教えてください
ANAグループは、グループ内の人材交流が活発で、現在はANA X株式会社という、ANAマイレージクラブを中心に、グループ全体の顧客マーケティングを担う新会社へ出向しています。マイルが貯まる使えるサービスの新規開発や、提携企業の新規開拓、提携済み企業との取り組み強化を担当しています。飛行機に乗るとき以外でもお客様との接点を作り、お客様の日常にANAがいる世界を作り、次回の搭乗時もANAを選んでいただけるよう活動しています。

経済学部の学びと仕事の接点は？
在学中は、日本経済の歴史を学ぶゼミに所属し、戦後から現在まで日本経済がどのような発展をし、今に至り、どんな課題があるのかを学びました。経済というものへの関心を持てるようになったことで、新聞やニュースの情報がすんなり頭に入るようになったと思います。就職活動時もさまざまな業界の企業へ関心を持つことができ、将来やりたい仕事など、想像しながら活動することができました。

後輩たちへメッセージをお願いします
大学は義務教育ではないので、自分次第で価値ある4年間にも、そうでない4年間にもなります。机で勉強することももちろん大事ですが、色々な場所へ出かけ、色々な人やモノと出会い、たくさんの価値観を得る期間にもして欲しいと思います。

大成建設株式会社 東京支店 管理部経理室 勤務
佐野 友美さん
経営学科2016年3月卒業

現在のお仕事の内容を教えてください
大成建設は、オフィスビル・商業施設・橋・トンネル等々「地図に残る仕事」を手がける総合建設業の会社です。私は事務社員として東京支店の経理室に勤務し、首都圏エリアで請け負っている全工事の収支管理や業績管理、監査対応等の業務を行なっています。全国各地に支店がある中、特に東京支店は大規模な再開発や国から依頼された工事等、世間からの注目度が高いプロジェクトが多いので、自身の業務の影響力の大きさにやりがいを感じながら、日々業務に取り組んでいます。

経済学部の学びと仕事の接点は？
マーケティングのゼミに所属し、企業のマーケティング戦略や消費者の購買行動について研究をしていました。世の中に溢れる物やサービスを、“ビジネス”という視点で捉えたり、情報に基づいて現状を分析・考察する力を養いました。ゼミで学んだことは、就職活動で企業選択をする際に役立っただけでなく、仕事を進める上で非常に重要な「自分で考える力」のベースとなっています。

後輩たちへメッセージをお願いします
大学での４年間は、是非人との出会いを大切にしてほしいと思います。大学には育った環境も違えば価値観も違う人がいます。そんな人達と出会い、同じ目標に向かって努力し、切磋琢磨し合った経験は、きっと自分を大きく成長させてくれるはずです。４年間という限られた大学生活を、悔いの残らないよう精一杯楽しんでください。

野村不動産株式会社 住宅事業本部 関西支社 住宅営業部 住宅営業二課 勤務
竹内 達也さん
経営学科2016年3月卒業

現在のお仕事の内容を教えてください
野村不動産はさまざまな建物の開発と街づくりを手掛ける総合デベロッパーです。企画から販売まで、関連子会社に委託することなく、すべて自社内で行うのが特徴で、早くからやりがいのある面白い仕事を任せてもらえます。
現在はマンション・戸建てなどのモデルルームのご案内、住宅の説明、ローンの取り付け、契約、引き渡しといった住宅販売を中心に、チラシ制作、告知、週・月単位の販売戦略の立案などに携わっています。

経済学部の学びと仕事の接点は？
フィールドワークでの外部との接触、各種データの検証と文献のレビューを重ねて書き上げた卒論など、ゼミでの学びがいまに大きく活きています。私の所属したゼミでは求められるレベルが高く、覚悟をもって臨まなければなりませんでした。それを続けてきたことは実社会で生きるうえでも重要な経験値となりました。それだけに就活時はゼミの内容で相当語れた、という点でほかの学生と大きく差別化できたと思っています。

後輩たちへメッセージをお願いします
長いようで短い学生生活ですが、人生を大きく左右する期間です。何をどう突きつめていけるのかをよく考え、やり通してください。僕にとって一つの答えがゼミでした。突きつめていく、それをぼくはやってよかった。形はどうであれ、就活でも社会に出てからも胸を張ってやっていくための力強い支えになるはずです。

経済学部の

イチオシ

アクティブ ラーニング

基礎演習A・B（学部初年次教育）にアクティブ・ラーニングを導入

アクティブ・ラーニングとは、2012年に文科省が配布した資料で、「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学習者が能動的に学ぶことによって、後で学んだ情報を思い出しやすい、あるいは異なる文脈でもその情報を使いこなしやすい（中略）グループ・ワーク等を行うことでも取り入れられる」と解説されています。以前から教育現場で様々な取り組みがされてきましたが、情報化が進む21世紀に新たに進化してきた、単に知識を蓄積するのではなく、思考力を活性化する学習方法です。

授業では、❶情報の収集、❷資料の精読、❸レジュメの作成、❹グループへの提案、❺グループでの討論、❻グループで情報のまとめ、❼グループで発表（プレゼンテーション）、❽振り返り、を繰り返します。❶から❸は授業前に準備し、❽は授業後に教員へ提出します。これにより、授業前に何か準備しなくてはという態度が身に付き、振り返ることで次へつながります。グループ・ワークでは、討論やまとめという作業の中で役割分担ができ、自分が得意なことや他人のいい所を見つけられるようになります。

Message

from Professor 齊藤 光弘 助教

本学部では、2016年度から初年次の必修授業において、アクティブ・ラーニング型の学習スタイルを導入しています。グループワークを授業の中心に据えることで、「人とコミュニケーションし協力する力」「主体的に物事に働きかける力」が醸成されます。社会が複雑化する中で、一人で対応できる問題は減ってきています。これからの時代に求められる、人と協働することを通して、より大きな成果を生み出すのに必要なスキルと、その楽しさ・難しさを体感してもらえればと思います。

from Facilitator & Adviser 経済学科2年 岩淵 理加
東京都立忍岡高等学校出身

私はアクティブラーニング型授業の学びをサポートするFAを担当しました。FAの仕事は時間を多く費やす為、大変な時もあります。しかし、FA一人一人の意見・考えを反映させて頂ける、とてもやりがいのある仕事です。

その中で私は、授業の中でFAとして前に出る時は、出来るだけ笑顔で、楽しみながら話すようにしています。簡単なことですが、相手に楽しんでほしい時ほど心がけなくてはいけない、重要な事です。この経験から、相手に何かしてほしい時は、自分から動く事が大切だと学び、心がけるようになりました。

学部1年生が一丸となって取り組む「プレゼン大会」

1年次の後期に開講される「基礎演習B」では、実際の産業界や組織から提示される「課題」に取り組みます。
2017年度は、農業生産法人株式会社GRAから「イチゴを用いて、日本の農業問題を解決する取り組みを提案しなさい」という課題が提示され、各クラスで企画案を作成しました。各クラスの最優秀チームが、プレゼンテーション大会で学びの成果を競いました。

PBL型授業とは

経済学部では、アクティブ・ラーニングの一つであるグループワークを主体とした能動的学習の授業を2年次以降も設けています。例えば、「経営学特論（ビジネスデザインⅠ）」では企業や外部組織に協力をいただき、実際に抱えている「課題」や「問題点」を募り、問題を解決するための方法を身につけることを目的とした課題解決型授業（PBL:Problem Based Learning）を展開しています。2017年度の上記授業では、ギャップジャパン株式会社に全面的なご協力を頂きました。

フィールドワーク型の授業も充実

経済や社会についての理解を深め、自分自身で考える力を養うため、「現場」に出かけて企業や自治体、地域の方から直接、お話をうかがったり、調査を行ったりするフィールドワーク型の授業にも力を入れています。例えば2017年度の「フィールドワーク入門」では、渋谷区役所のまちづくり担当者や人気スポットである代官山蔦屋書店のイベント担当者をお招きしてゲスト講義をしていただいたり、渋谷再開発の現場や話題の「裏渋」などの「まちあるき」を行いました。

学内外のビジコンやディベート大会にも積極的に参加

アクティブ・ラーニングで培った力を活かして、学内外で開催されるビジネスコンペ（ビジコン）にも積極的に参加しています。例えば、一般社団法人神奈川経済同友会が主催する「神奈川産学チャレンジプログラム」には、いくつものゼミがチームで参加し、毎年、入賞チームを輩出しています。また、2017年の「第2回渋谷区長への政策提言コンペ」（本学主催）でも、経済学部3年生のチームが見事に区長賞に選ばれました。ほかにも「渋沢栄一杯経済史・経営史ディベートリーグ」など、他大学とのディベート大会に参加しているゼミもあります。

経済学部のオススメ グローバル教育

英語教育の取り組み

経済学部では、基礎的な英語能力を定着させ発展を図るとともに、実際のオーラルコミュニケーションを通じて新しい語彙や表現を身につけ、将来グローバルに活躍するための英語運用能力を養う講義を開講しています。もちろん、授業ではネイティブスピーカーのもとで、すべてが英語でやり取りされます。間違いを恐れず積極的に発言し、「知識」としての英語から「技術」としての英語へ。私たちとともに学びましょう!

※2017年4月入学生より、共通教育プログラムでの実施となります。

Message **Matthew Hutton** 講師

Improve your Business English so you are ready to step out into the professional world.

Focusing on your presentation skills and your ability to communicate, it is a great chance to make friends and build your confidence in an English only setting.

経済英語

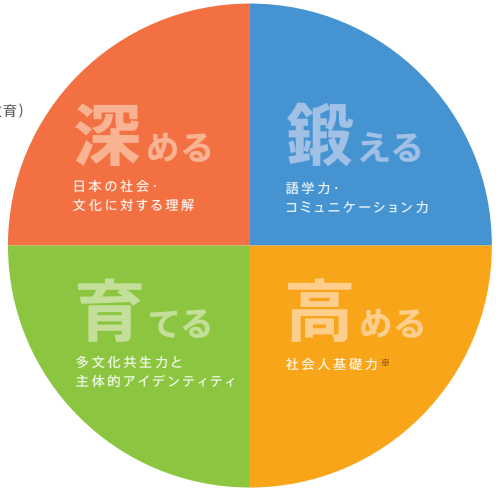
1、2年次で身につけた英語力を応用し、英会話の実践力を養います。英語で学び、考え、発信するため、グループワーク、ディスカッションなどを通じて様々なトピックを多角的に考察し、プレゼンテーションも行います。

Message 経営学科3年 **小柳津 裕貴**
千葉県立柏中央高等学校出身

In this class, there were moments that I couldn't express my thought in English so many times. In that situation, I felt lack of my English skill. However, these experiences made my English skill stronger. After struggling to express myself in English, I always studied the best way to think in English. These experiences will be useful for my academic activity & future job.

勇気を出して一歩、踏み出してみよう!
世界へはばたく皆さんを応援するさまざまなプログラム

- 神道科目(共通教育)
- 國學院科目(共通教育)
- Japan Studies(共通教育)
- 副専攻「日本の歴史を知る」など



- 正課の英語・外国語科目
- LLC (Language Learning Center)
- 課外英語講座
- 語学留学
- オンライン学修ツール
- 学内 TOEIC など

- 協定留学
- 海外インターンシップ
- 国際交流活動 など

- 基礎演習やゼミ(各学部・学科の専門科目)
- ライフデザイン・インターンシップ(共通教育)
- 海外インターンシップ など

※社会人基礎力とは「職場や地域社会で多用な人々と仕事をしていくために必要な基礎力」として経済産業省が定義した3つの能力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)の総称です。

海外体験(語学留学)プログラムの一例 (平成30年度予定、変更の場合あり)

4週間の留学入門プログラム
夏期・春期短期留学

- 目的:語学能力向上
- 期間:長期休暇中に4週間
- 留学先:ダブリンシティ大学(英国)、セントマイケルズ大学(米国)、マニトバ大学(カナダ)、ケープブレトン大学(カナダ)、APU大学(マレーシア)、復旦大学(中国)、南台科技大学(台湾)、西部カトリック大学(フランス)、デュースブルク=エッセン大学(ドイツ)

高い語学能力習得のために
セメスター留学

- 目的:高い語学能力習得
- 期間:学期中に3~4ヶ月間
- 留学先:英国、米国、カナダ、ニュージーランド、中国、台湾
- 応募資格例:TOEIC550点または TOEFL-ITP450点

➡奨学金
全参加者に授業料の半額相当(35万円)を留学前に支給。成績優秀者に学修奨励金(10万円)を留学後に支給。

交換留学生として派遣
協定留学

- 目的:学部授業に参加もしくは高度な語学能力習得
- 期間:学期中に2または1学期間
- 留学先:ヨーク・セント・ジョン大学(英国)、ビンガムトン大学(米国)、マニトバ大学(カナダ)、復旦大学、南開大学(中国)、京畿大学(韓国)、ハノイ大学(ベトナム)など
- 応募資格例:TOEFL-ITP550点

➡奨学金
留学期間が2学期間の場合30万円、1学期間の場合15万円を支給。

Voice **留学の可能性**

内定先:楽天株式会社
金井 大輔
長野県岡谷南高等学校身
経済学科2018年3月卒業

3年次の後期にカナダ・マニトバ大学へのセメスター留学を経験しました。
日々の授業やホストファミリーとの生活の中で、学んだ事は数えきれないほどあります。英語の上達はもちろんですが、学習過程における言葉の通じない環境下でのコミュニケーション能力や多面的に物事を捉える力といった日本での生活では鍛えづらい部分が向上したと感じます。
また、留学は自分自身を理解する期間でもありました。それぞれの文化を持つ世界中から集まる学生と時間を共にするなかで自らの長所や短所、議論においてどこまで妥協できるかといった自らを俯瞰する時間が多くありました。
来春から社会人となりますが、"グローバルに活躍する"というのが私の将来の抱負です。言語は1つの手段にしか過ぎませんが、留学のおかげで目の前の世界はとても広がっていると感じます。あらゆる可能性を信じて、自分なりのキャリアを築いていきたいと考えています。

経済学部のカリキュラムと教員

経済学部生はすべての科目を履修できます。

◎:学部共通科目(日本の経済、基礎演習Aは必修)
○:学科基礎科目(学科ごとに異なります)
◆:専門基本科目(学科ごとに異なります)
◇:専門応用科目(学科ごとに異なります) ※この他にも専門関連科目があります

経済学部　アドミッション・ポリシー

経済学部は、経済と経営、そして社会に関する教育を主軸に、主体的に人生を切り拓き、自ら選んだ分野で将来の日本社会に貢献できる人材を育成します。
このことを踏まえて本学部では、次の能力・資質・態度に優れた者を受け入れます。

A 知識・技能

❶「総合英語」に対応する基礎的水準の英語を理解できる者。
❷「政治・経済」「地理」「日本史」「世界史」の基本的な知識を習得できている者。

B 思考力・判断力・表現力

❶適切な日本語を使って大人との対話ができる者。
❷適切な日本語を使って交渉相手と友好的に交渉ができる者。
❸日本語の文章を読んで理解できるとともに、自らの考えや主張を適切な文章で表現できる者。

C 主体的に学修に取り組む態度

❶大学の内外の人びとと交流する意欲をもつ者。
❷大学のカリキュラムを理解し、強い学修意欲をもつ者。
❸新しい知識や経験に対して謙虚に学ぶ意欲をもつ者。

入学までに身につけるべき教科・科目、資格など(学部共通) ➡「総合英語」「政治・経済」「地理」「日本史」「世界史」
なお、経済学科については「数学」の基本知識を習得していることが望ましい。

	1年次	2年次	3年次	4年次	4年間で身につけるスキル
	必修科目の「日本の経済」で経済学の基本的な考え方と日本経済の仕組みを学ぶとともに、「基礎演習A・B」ではグループワーク形式で大学での学びのスキルとその活用を課題解決を通じて身につけます。	1年生で学んだ入門的な内容からさらに発展した経済・経営の知識を身につけます。6月に行われる選考に合格すれば、後期から「演習(ゼミ)」に参加することができ、本格的な学びが始まります。	自分が所属するコースが確定し、応用的な科目もはじまり、大学での学びがもっとも面白くなる3年生。ゼミにおいても合宿や実地調査、他大学との交流など、それぞれ特色ある学びを深めていきます。	最終学年となる4年生では、4年間の学びの集大成として、自らテーマを選択し、ゼミの教員に適宜指導を受けながら卒論(演習Ⅳ)を完成させます。 ※ゼミによって卒論がない場合もあります。	
経済学部の専門教育科目	◎ 日本の経済 ◎ コンピュータ基礎 ◎ 基礎演習A ◎ 基礎演習B	◇ 演習Ⅰ(2年次後期)	◇ 演習Ⅱ(3年次通年)	◇ 演習Ⅲ(4)(4年次通年)※ ◇ 演習Ⅲ(2)(4年次後期)※ ◇ 演習Ⅳ(卒論)※ ※ゼミによって開講パターンは異なります	演習系科目では、専門テーマの追究を通じて、社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を身につけます。
経済学科	◎ 世界の経済 ○ 経済統計の見方 ◇ ジェンダーと経済 ○ 経済史の基礎 ○ 経済理論入門 ◇ 経済学特論 他	○ 統計学 ○ 現代日本経済 ○ 財政の基礎 ○ 金融の基礎 ○ 国際経済 ◆ 日本経済史 ◆ 西洋経済史 ◆ マクロ経済学 ◆ ミクロ経済学 ◆ 経済原論 他	経済の歴史と理論コース 日本の経済システムと政策コース グローバル経済コース ◆ 産業組織論 ◆ 労働経済 ◆ 地域と行財政 ◆ 経済学史	◆ アジア経済 ◆ アメリカ経済 ◆ EU経済 ◆ 国際通貨と国際金融 ◇ 雇用と社会政策 ◇ リスクと保険 ◇ 証券投資分析 ◇ 農業経済 他	現実の経済・社会問題に対して、どのような経済学の分析枠組みを用いて問題を解決すべきかを考えるスキルを身につけます。
経済ネットワーキング学科	◎ 情報システムの基礎 ○ 調査研究入門 ◇ ジェンダーと経済 他 ○ スタディツアー ◇ 経済統計の見方	○ 環境経済の基礎 ○ 地域社会問題入門 ○ 情報システム ○ 情報メディア問題入門 ○ 社会保障の基礎 ◆ アンケート調査入門 ◆ フィールドワーク入門 ◆ 開発経済 ◇ 公共部門と財政 他	地球環境と開発コース 地域づくりと福祉コース 情報メディアコース ◆ 環境と経済 ◆ まちづくりと市民 ◆ NGO・NPOと社会 ◆ アンケート調査	◆ 少子高齢社会と社会保障 ◆ 医療の経済 ◆ 情報倫理とセキュリティ ◆ ネットワーク型組織 ◆ フィールドワーク ◆ フィールドスタディ ◇ 法情報学 ◇ 福祉社会と情報 他	「現場」の視点で物ごとを捉え、従来の経済の枠組みを用いて問題を解決すべきかを考えるスキルを身につけます。
経営学科	◎ 会社入門 ○ 経営理論入門 ○ 現代の企業経営 ◇ ジェンダーと経済 他 ○ 簿記と財務報告A・B ○ 調査研究入門 ◇ 経営学特論	○ 経営戦略の基礎 ○ マーケティングの基礎 ○ 企業財務の基礎 ○ 財務会計 ○ 企業問題入門 ○ 経営史 ◆ 経営組織 ◆ 国際経営 ◆ 予算管理 ◇ 経営情報の開示 他	マネジメントコース 会計情報コース ◆ 経営管理 ◆ マーケティング ◆ 生産管理 ◆ 企業監査	◆ 原価計算 ◆ 応用財務会計 ◆ 税務会計 ◆ 組織行動 ◆ 財務諸表分析 ◆ 人事管理 ◇ ベンチャービジネス ◇ 消費者と広告 他	実際に起こりうる経営・会計の諸問題を経営学・会計学そして統計学の枠組みを用いて分析し、よりよい企業経営のあり方を導くスキルを身につけます。
経済学部の英語教育	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 英語Ⅲ, 英語Ⅳ	英語Ⅴ, 英語Ⅵ, 英語Ⅶ, 英語Ⅷ	◇経済英語(Presentation Skills)　◇経済英語(Business Communication)		すべてネイティブ講師による授業です。レベル別に分かれたクラスで、経済英語まで受講すると、英語でPBLを行い、プレゼンする技能を身につけることができます。

経済学部 専任教員一覧　専門分野／研究テーマ

■ **大西 祥恵 教授**
労働経済・社会政策／労働市場で不利な立場にある人々の就労実態・支援に関する研究

■ **小木曽 道夫 教授**
組織／組織の理論的・実証的分析、自己生産

■ **尾近 裕幸 教授**
オーストリア学派経済学

■ **金子 良太 教授**
財務会計／非営利組織会計・政府会計の研究

■ **久保田 裕子 教授**
消費経済／有機農産物流通における消費者・生産者に関する実証的研究

■ **紺井 博則 教授**
金融・国際金融論／経済の金融化と現代資本主義、グローバル化と金融危機

■ **佐藤 謙一 教授**
税務／所得税及び租税手続が抱える問題とその解明

■ **杉山 里枝 教授**
日本経済史／日本経済や企業経営に関する歴史的研究

■ **髙橋 克秀 教授**
グローバル経済論／複雑ネットワーク解析

■ **髙橋 尚子 教授**
情報学／情報教育、ICTの利活用、テクニカルコミュニケーション

■ **田原 裕子 教授**
地域における人口減少・少子高齢社会に関わる諸問題の研究／渋谷経済

■ **中馬 祥子 教授**
開発経済学／世界システム論に基づくアジア地域研究／女性労働論

■ **土田 壽孝 教授**
現代ファイナンス／現代ファイナンス論・証券投資分析(ファイナンシャルエンジニアリング)・金融理論

■ **中泉 真樹 教授**
応用ミクロ経済／産業組織論、医療経済学

■ **根岸 毅宏 教授**
財政学／アメリカ福祉国家システムとその財政の研究

■ **野村 一夫 教授**
メディア論、知識理論、社会理論

■ **橋元 秀一 教授**
日本経済・労働経済／日本の労働市場・労使関係の実証的研究

■ **秦 信行 教授**
コーポレートファイナンス／ベンチャーファイナンス／ベンチャーキャピタル

■ **古沢 広祐 教授**
環境経済／生命系に基づく共生の社会経済学、環境と持続可能な開発

■ **星野 広和 教授**
経営学／企業経営と品質管理に関する理論的・実証的研究

■ **細井 長 教授**
国際経済／中東産油国経済、多国籍企業の研究

■ **細谷 圭 教授**
マクロ経済学／公共経済学

■ **本田 一成 教授**
人的資源管理・組織行動／サービス産業の人材開発・労使関係研究

■ **水無田 気流 教授**
文化社会学・ジェンダー論／社会関係の内実を文化現象より検証

■ **宮下 雄治 教授**
マーケティング論／製品開発論／流通システム

■ **尾崎 麻弥子 准教授**
西洋経済史／スイス・フランス経済史／国境地域の経済問題

■ **東海林 孝一 准教授**
管理会計／企業経営における管理会計の機能と役割

■ **髙木 康順 准教授**
計量経済／日本およびアジアにおける消費行動のマクロ計量分析

■ **中田 有祐 准教授**
財務会計／国際会計

■ **野田 隆夫 准教授**
理論経済／技術の変化と経済の構造変化

■ **山本 健太 准教授**
経済地理学／都市型文化産業の集積構造に関する研究

■ **紺野 由希子 助教**
企業財務／海外進出による地域多角化の効果の測定

■ **齊藤 光弘 助教**
経営学／企業における組織・人材開発

■ **藤山 圭 助教**
経営戦略論／大規模技術システムの技術革新史

学科の特徴を知ろう!

経済学科

グローバリゼーションの諸様相

ゼミナール紹介 **細井ゼミ**

専門:国際経済／中東産油国経済・
多国籍企業の研究

細井 長 教授

世界経済は大きく変化しており、日本経済もそうした世界経済の変化と無縁ではいられません。日本市場は少子高齢化で今後の市場拡大が見込めず、日本企業の海外展開も加速しています。「国際経済と国際経営」をテーマに、ゼミ生各々の問題意識に応じてテーマを設定し、自由闊達な場で研究を深めるとともに世界を見る目を養っていきます。文献を用いた学びの他、経済の「現場」を知るために、夏休みにアジア諸国の日系企業を訪問する機会も設けています。流行の手法を用いず、伝統的な大学におけるゼミの進め方であるため、明確な問題意識をもった学生でないと厳しく感じるかもしれませんが、一人一人の学生が大きく成長するゼミであることを確信しています。

Curriculum 経済学科の履修モデル 「日本の経済システムと政策コース」の場合

1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次	4年次
日本の経済 基礎演習A 世界の経済 会社入門 経済史の基礎	基礎演習B コンピュータ基礎 経済理論入門 経済統計の見方 調査研究入門	財政の基礎 金融の基礎 現代日本経済 マクロ経済学 ミクロ経済学 社会経済学入門	日本経済と政策 日本の金融システム 統計学 国際経済 公共部門と財政 日本の中小企業 演習Ⅰ	地域と行財政 産業組織論 労働経済 日本の経済思想 経済原論 演習Ⅱ	演習Ⅲ 演習Ⅳ(卒業論文)

この他、共通教育科目の履修もあります。卒業のためには合計124単位以上の修得が必要です。

経済学科3年 **髙原 沙希**
神奈川県立横浜平沼高等学校出身

3年生からは主に卒論の完成に向けて、各自で自由にテーマを決めてゼミの時間に発表しています。私はアパレル産業の国際マーケティングについて興味を持ち、英語の文献も含む大量の文献と日々格闘しています。未収蔵の資料を探しに他大学の図書館に足を運ぶこともあります。
また、3・4年生それぞれが違うテーマをもって報告しているため、自分が興味をもった分野以外の事柄にも視野を広げることができています。日本のことだけではなく世界のことについて考え、理解する良い機会となっています。

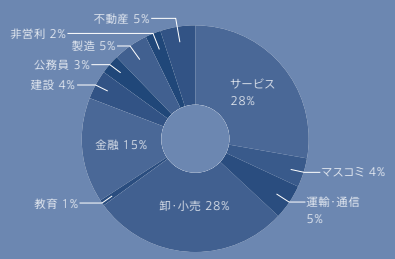
経営学科3年 **宮崎 泰輔**
狭山ヶ丘高等学校出身

今年度(平成29年度)の夏合宿は外資系企業が集積しているインド・グルグラムに1週間滞在し、大企業から中堅までの数社の日系企業訪問(工場見学)を行いました。
現地駐在員の方から大変な苦労をされているお話を伺い、途上国・新興国でビジネスを展開することの難しさを実感しました。同時にインドの貪欲に経済発展を目指すエネルギッシュさに圧倒されました。これからの日本企業はこうした新興国で活躍していくことが求められます。この合宿は、どんな環境下でも通用するタフでグローバルな視野をもつ社会人になりたいと思う大きな契機となりました。

経済学科2年 **東口 奈都子**
國學院高等学校出身

細井ゼミでは2年次には*GLOBAL SHIFT*というテキストを使い、グローバリゼーションの実態と国際経済の基礎を学んでいます。日本経済だけを学ぶのではなく世界にも目を向け、「外」との比較を行うことにより新たな知識や視点を得ることができます。
私が印象に残ったテーマは現在大きな存在となっている多国籍企業です。多国籍企業は国家よりも大きな力を持つこともあり、とても興味深く感じました。今後は、国際経済システムだけでなくグローバル企業の戦略などを深く学んでいくつもりです。

卒業後の進路 平成29年3月 卒業生実績



主な就職先 平成26年～平成29年3月卒業生

(スペースの都合により企業名は略称を用い業種ごとにあいうえお順に掲載しています)

【建設】大成建設【製造】キユーピー／資生堂／新日鐵住金／凸版印刷【卸・小売】三越伊勢丹／良品計画【金融】かんぽ生命保険／城南信用金庫／第一生命保険／日本生命保険／野村證券／みずほ証券／みずほフィナンシャルグループ／三菱東京UFJ銀行／三菱UFJモルガン・スタンレー証券／明治安田生命保険／ゆうちょ銀行／りそなホールディングス／SMBC信託銀行／SMBC日興証券 【不動産】三井不動産レジデンシャル 【運輸・通信】エイチ・アイ・エス／全日本空輸／東京地下鉄／東日本旅客鉄道 【サービス】帝国データバンク／東京ガス／日本郵便／ANAエアポートサービス 【マスコミ】電通東日本／北國新聞社 【公務員】財務省東京税関／東京消防庁／柏市役所ほか

就職内定者の声

内定先:東京都中央区役所
濵野 優土(藤山ゼミ)
埼玉県立越ヶ谷高等学校出身
経済学科2018年3月卒業

質問❶ 経済学部に進学した理由
就職のことを念頭に、経済学部なら社会に通用する力を養えるのではないか、経済を通して日本や世界を観られるようになるのではと思い、経済に絞って受験しました。國學院を選んだのは、ほかの大学と違い三つの学科、経済・経営・経済ネットワーキングのなかで学科の枠を越えて履修することが可能だからです。

質問❷ 学生時代に力を入れたこと
高校時代までは野球部で野球しかしてこなかったので、大学では新しいことをしようと決めていました。結局、野球サークルにも入りましたが、旅行やアルバイトほか熱中できるものを探しました。また、ゼミに入り組織論、経営戦略論を中心に学びました。公務員を志望するきっかけとなった地域経済学についても、専門書を買ってきて読んだり、先生に質問するなどして、知識を深めようと努めてきました。公務員になることが決まった現在、「ふるさと納税」をテーマに卒論を書いています。

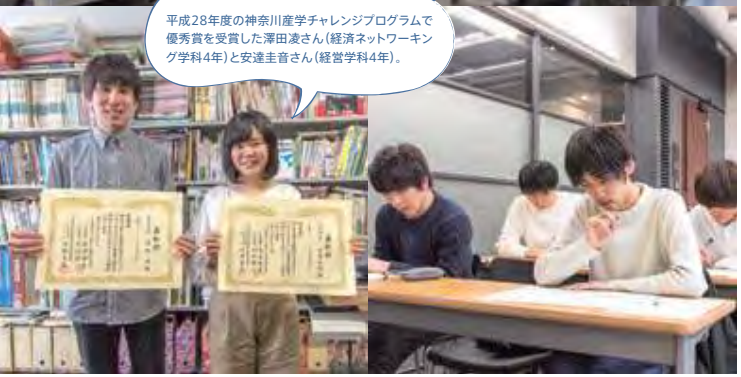
質問❸ 後輩へのメッセージ
よく言われることですが、大学生には良くも悪くも時間がたっぷりあります。遊ぶのも悪くないけれど、自分はどういう人間になりたいのかという将来像を明確に描くことができれば、大学時代の四年間は有意義なものになると思います。就活もそうですが、いろいろなことに興味をもってチャレンジしてください。

学科の特徴を知ろう!

経済ネットワーキング学科

人口減少社会におけるまちづくり

ゼミナール紹介 **田原ゼミ**



平成28年度の神奈川産学チャレンジプログラムで優秀賞を受賞した澤田凌さん(経済ネットワーキング学科4年)と安達圭音さん(経営学科4年)。

専門:地域における人口減少・少子高齢社会に関わる諸問題の研究／渋谷経済

田原 裕子 教授

田原ゼミの特徴は、なんといっても代官山や渋谷における地域貢献活動と、学内外のビジネスコンペへの積極的な参加を通じた学びです。たとえば「ひまわりガーデン代官山坂」や「代官山ハロウィン」では、毎年、イベント等の運営のお手伝いをしており、すっかり地域の方に頼られる存在になっています。また、3年次には一般社団法人神奈川経済同友会主催の「神奈川産学チャレンジプログラム」に参加しています。経済同友会所属の企業数十社が設定したテーマに対し、各大学から参加した約400チームが研究成果を競うというビジネスコンペで結果を出すのは大変ですが、夏休み中も毎週集まって調査や収集したデータの分析を行うことで毎年のように入賞チームを輩出しています。これらの学習を通じて、社会の中で自分らしく活躍できるチカラを養います。

Curriculum 経済ネットワーキング学科の履修モデル 「地域づくりと福祉コース」の場合

1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次	4年次
日本の経済 基礎演習A 世界の経済 情報システムの基礎 調査研究入門	基礎演習B コンピュータ基礎 会社入門 スタディツアー	地域社会問題入門 現代日本経済 財政の基礎 開発経済 環境経済の基礎 アンケート調査入門	フィールドワーク入門 (地域社会) 日本経済と政策 社会保障の基礎 日本の中小企業 演習 I	まちづくりと市民 少子高齢社会と社会保障 医療の経済／雇用と社会政策 フィールドワーク(地域社会) 消費者主権の経済学 地域社会問題／地域と経済 地域と行財政 演習 II	演習III 演習IV(卒業論文)

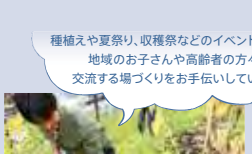
この他、共通教育科目の履修もあります。卒業のためには合計124単位以上の修得が必要です。

経済ネットワーキング学科3年 **五十嵐 悟天**
千葉県立柏陵高等学校出身

ゼミでは代官山でのフィールドワークや神奈川産学チャレンジプログラムという課題解決型の学外ビジネスコンテスト、そして渋谷再開発に伴う遊歩道の活用提案会などと、まちづくりや社会保障に関する様々な取り組みを行いました。正直大変なことも多かったのですが、実践の中で学問的知識もさることながら、論理的思考力などの社会人基礎力までしっかり学ぶことができ、ゼミは自身の成長に大きくつながる場であると実感しています。

経済ネットワーキング学科3年 **辛島 千咲**
開智高等学校出身

ゼミでは代官山の地域の方々との関わりが強く、年に何度かイベントの手伝いをさせていただいています。他にも渋谷区の街歩き調査等のフィールドワークを行っています。自分たちの街のために地域の皆で協力する姿にいつも感動し、人の温かさを感じます。普段、接する機会が少ない子供や高齢者、障害者の方と関わった経験を通して、コミュニケーションの大切さを学び、自分の成長に繋がっていると感じています。



種植えや夏祭り、収穫祭などのイベントを通じて、地域のお子さんや高齢者の方々が交流する場づくりをお手伝いしています。

「第2回オリパラ・渋谷川政策提言コンペ」において、五十嵐悟天さん(経済ネットワーキング学科3年)と萩原甲斐さん(経済学科3年)のチームが長谷部区長賞を受賞しました。

代官山商店街が主催するハロウィンのイベントでは、お子さんにプレゼントを渡すスペシャルスポットの運営を任されました。

経済ネットワーキング学科2年
沼田 翔大
尽誠学園高等学校出身

2年生の後期からゼミやフィールドワークの講義を通して、主に地域づくりに関した勉強をしています。ゼミでの学習は、教科書や新聞を使った報告、発表の他に実際に現地へ出向いてその地域を調査するなどの活動を行なっています。また、フィールドワークの講義では街歩きや、ゲスト講師を招いての講義から渋谷の再開発について調査しています。どちらも、実際に現地へ出向いた実習ができることに魅力を感じ、日々勉学に励んでいます。

就職内定者の声

内定先:全日本空輸株式会社 **藤島 彩香**(星野ゼミ)
和洋九段女子高等学校出身
経済ネットワーキング学科2018年3月卒業

質問❶ 学生時代に力を入れたこと
ボランティア・サークルの活動です。カンボジアで井戸やトイレといった水の支援をするもので、現地には2回行きました。また勉強面では、経営学のゼミに入ったほか、経済英語の授業や英会話レッスンを受けるなど英語にも力を入れました。3年生の時にはセメスター留学(4か月間)でカナダに行きました。周りのレベルの高さに圧倒され、生半可な気持ちでは駄目だと痛感しましたが、奮起して乗り切りました。

質問❷ 就活で意識したこと、内定先を選んだ理由
航空会社、ホテルなどサービス業を中心に受けたので、面接では笑顔、身だしなみ、清潔感など第一印象を良くすることを意識しました。内定先を選んだのは、インターンシップや説明会で会ったどの社員の方も会社が好きで仕事に誇りをもっていたからです。内定の際は、自分を見てくれ、良さを引き出してくれる印象的な言葉をいただきました。

質問❸ 後輩へのメッセージ
経済学部は自分のやりたいことがやりやすい学部。私は英語に力を入れることができたし、いい意味で自由です。学生時代を充実させることは、将来へとつながっていきます。頑張ってください。

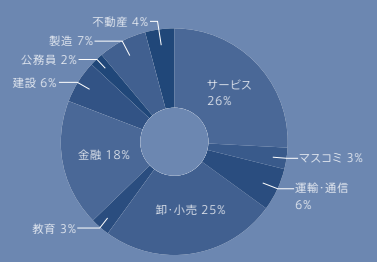
内定先:アストラゼネカ株式会社 **澤田 凌**(田原ゼミ)
さいたま市立浦和南高等学校出身
経済ネットワーキング学科2018年3月卒業

質問❶ 経済学部に進学した理由
学部としての経済というより、経済ネットワーキング学科に魅力を感じて進学を決めました。フィールドワークを通して現場の声を聴き、フィードバックをもらいながら自分のものにしてゆく。その学びの過程に強く惹かれたからです。また受験科目についても、英語が苦手で日本史が得意な自分には好都合でした。

質問❷ 学生時代に力を入れたこと
一番にゼミです。中でも力を入れたのは"神奈川産学チャレンジプログラム"です。私はチーム・リーダーとして「シャッター通り商店街の再生」というテーマに取り組みました。審査は厳しく、相当頑張らないと受賞できない。聴き取り内容の質と量、取材先を選んだ根拠も問われる。さまざまな文献をひも解き、事例を調べ上げ、その結果、優秀賞を獲得することができました。また、ばらばらだったチームを戸惑いながらも引っ張っていったことも得難い経験となりました。

質問❸ 就活で意識したこと、内定先を選んだ理由
考えたのは、高収入が得られる業界で働きたい、その上で自分が何にやりがいを感じるかを考えました。祖父ががんを患ったことからMR(医薬情報担当者)という職業に興味を覚え、また挑戦できる環境で働きたいとの思いがありました。外資系でありオンコロジーに力を入れている内定先は希望通りでした。

卒業後の進路 平成29年3月 卒業生実績



主な就職先 平成26年～平成29年3月卒業生

(スペースの都合により企業名は略称を用い業種ごとにあいうえお順に掲載しています)

【建設】積水ハウス【製造】味の素冷凍食品／協和発酵キリン／日本アクセス【卸・小売】国分首都圏／住友商事グローバルメタルズ【金融】城南信用金庫／第一生命保険／日本生命保険／野村證券／みずほ証券／みずほフィナンシャルグループ／三井住友銀行／三菱東京UFJ銀行／三菱UFJモルガン・スタンレー証券／りそなホールディングス【運輸・通信】エイチ・アイ・エス／東海旅客鉄道／東日本旅客鉄道／ANAエアポートサービス／JTBコーポレートセールス【サービス】伊藤忠テクノソリューションズ／帝国データバンク／東京ガス／日本郵便／富士ソフト／JR東日本情報システム【マスコミ】朝日広告社／電通九州【公務員】警視庁／財務省東京税関／埼玉県庁／千葉市役所ほか

学科の特徴を知ろう！

経営学科

考える力の涵養

ゼミナール紹介 **藤山ゼミ**

専門：経営戦略論・
大規模技術システムの技術革新史

藤山 圭 助教

大学では、難しい概念・理論を学ぶこともあります。こうした知識や考え方は、実際に使ってみて、さらに使い方が適切であったかどうかフィードバックを受けることではじめて考える力として身に着きます。そのために大学が提供している場が、教員と学生が近い立場で議論を行うゼミです。私のゼミは、少し難しめの本を読むことと、本や授業で得られた知識を実際の企業経営（例えばマクドナルドやソニー、予備校やカフェ業界など身近な企業・産業）の分析に応用することの二つを軸に運営しています。少し準備が大変なようですが、その分就職活動などにも役立つでしょう。ゼミ生同士、尊敬しあいながらも真剣に議論をできる場でありたいと思います。

Curriculum 経営学科の履修モデル 「会計情報コース」の場合

1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次	4年次
日本の経済	基礎演習B	財務会計	企業財務の基礎	原価計算	演習III
基礎演習A	コンピュータ基礎	企業問題入門	予算管理	応用財務会計	演習IV（卒業論文）
会社入門	簿記と財務報告B	経営戦略の基礎	公会計	財務会計	
世界の経済	調査研究入門	マーケティングの基礎	経営組織	企業監査	
簿記と財務報告A	経営理論入門	統計学	経営史	国際会計	
	経済統計の見方	経営情報の開示	日本の中小企業	財務諸表分析	
	現代の企業経営	経営学特論（ビジネスデザインⅠ）	演習Ⅰ	演習II	

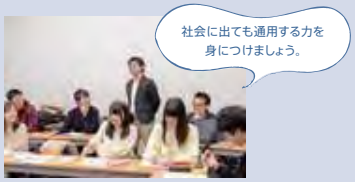
この他、共通教育科目の履修もあります。卒業のためには合計124単位以上の修得が必要です。

経営学科3年 **峰 尚弘**
広尾学園高等学校出身

私たち藤山ゼミでは、企業経営に関連した社会現象を分析し、説明できるようになることを目的として勉強しています。そのために、多様なフレームワークの学習と具体的な事例分析を両輪としたゼミナールを実施しています。ゼミでは、前半は輪読を行い、後半は戦略論や組織論など関連領域の理論・フレームワークを使った事例分析をグループワークで行っています。夏季休暇中には3泊4日のゼミ合宿、3年後期にはビジネスコンテストへの参加など様々な活動をゼミ生全員で協力しながら頑張っています。

経営学科3年 **渡邊 杏奈**
多摩大学附属聖ヶ丘高等学校出身

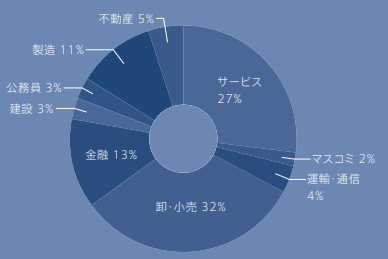
2年生から3年生の前期にかけては、多くの企業の成功と失敗の実例からグローバルな戦略について、3年生の後期では、正しい因果関係を見抜く思考法を書籍の輪読を通して学習しました。輪読は、内容がとても難しいこともありますが、疑問点を皆で質問し合ったり、身近な事例を議論し合うことで理解を深めています。また、グループワークでは、私たちは予備校業界をテーマに研究しており、各グループで書籍の出版を目標に活動しました。藤山ゼミは個性的なメンバーが多く、学年問わず沢山の意見がもらえるため、ゼミでの交流がとても良い刺激になっています。



経営学科2年 **深瀬 麻水**
山形県立山形北高等学校出身

藤山ゼミでは、経営戦略・組織について学んでいます。2年生にとって初めての活動であるゼミ合宿では、ディプロマシーを3日間行い、交渉の難しさや駆け引き、政策の立て方について学びました。とても難しいゲームでしたが、大学の講義で得た知識を活用し行っていきました。後期からは、気になるテーマ別にグループに分かれ、自分たちで問いを立て研究をしています。ゼミでは、先生、先輩、同輩と意見を交わすことで、自分と異なる考えも学ぶことができるので、成長することができます。普段は賑やかで楽しいメンバーですが、ゼミの時間は集中して取り組み、勉強に励んでいます。

卒業後の進路 平成29年3月 卒業生実績



主な就職先 平成26年～平成29年3月卒業生

（スペースの都合により企業名は略称を用い業種ごとにあいうえお順に掲載しています）

【建設】住友林業／積水ハウス／大成建設／大和ハウス工業／東急建設【製造】カシオ計算機／新日鐵住金／富士通／古河電気工業／本田技研工業／ヤマハ発動機【卸・小売】丸紅【金融】かんぽ生命保険／損害保険ジャパン日本興亜／第一生命保険／日本生命保険／野村證券／みずほ証券／みずほフィナンシャルグループ／三井住友銀行／三菱UFJモルガン・スタンレー証券／明治安田生命保険／横浜銀行【不動産】野村不動産【運輸・通信】ANAエアポートサービス／JALスカイ【サービス】日本郵便／楽天【公務員】警視庁／国税局／港区役所ほか

就職内定者の声

内定先：敷島製パン株式会社
安達 圭音（田原ゼミ）
新潟県立長岡向陵高等学校出身
経営学科2018年3月卒業

質問❶ 経済学部に進学した理由

高校時代から物がどうやって売れるのかなどマーケティングの世界に興味がありました。将来はメーカーに入って、どういう商品が売れるのか知りたい、自分でお菓子の新商品を生み出したりもしたい、などとそんなことばかり考えていました。また地方出身者として地域問題についても学びたいと思っていました。それらを全部満たせるのは國學院大學の経済学部だと思い、選びました。

質問❷ 学生時代に力を入れたこと

一番力を入れたのはゼミです。1年生の時に受講したゼミの先生の授業がとても面白くて、ゼミに入れば自分の勉強したいことがもっと学べるに違いないと思って入りました。

教科書や新聞記事をまとめて皆に報告するといった毎週の課題、そしてディズニーランドでのアルバイト。それらを両立させるために、タイムスケジュールを作って早めに行動し、日々いかに先輩たちに追いつけるかをいつも心に置いて頑張ってきました。ゼミで取り組んだビジネスコンペや卒論だけでなく、毎週のゼミ報告でも誰よりもいいレジュメを作ろうと取り組んできたことが、自分の成長につながったのではないかと自負しています。

質問❸ 就活で意識したこと、内定先を選んだ理由

自分のやりたいことをやり、やりたくないことはやらない、という性格なので、会社を選ぶときも、希望のマーケティングや商品開発を視野に入れたうえで食品メーカーを選びました。内定先は国産小麦を使い、地域の農業と深い関わりをもって生産を行っています。私の希望や学んできたこと、会社の業務や指針などすべてがマッチしていると思い決めました。

特集

ケイジョたちの学びと仕事

経済学部の学びが役立っています

経済学部生と卒業生をつなぐ「絆プロジェクト」に参加して下さった卒業生 の中から、お二人のＯＧにお話をうかがいました。

鈴木 陽子さん
2009年、経済学部経営学科卒業。
細井ゼミに所属。
現在は野村證券株式会社厚木支店、ファイナンシャル・コンサルティング課に勤務。

大野 博美さん
2015年、経済学部経済学科卒業。
東海林ゼミで管理会計を学ぶ。
現在はキユーピー株式会社、ロジスティクス本部企画部、業務管理チームで物流に関わる。

Interviewer
杉山 里枝 教授

現在の仕事

杉山　本日は経済学部の卒業生を代表して、働く女性お二人にお越しいただきました。まずお二人のご勤務先の概要やご自身の業務内容について教えてください。

鈴木　主にリテール業務です。当社の業務内容は不動産業務、相続に関するビジネスなど多岐にわたりますので、経済情勢を読みお客さまと密に連絡を取りながら、ニーズに合った金融商品を販売しています。

大野　当社はマヨネーズ、ドレッシングをはじめとする食品を製造・販売し、原料に強いこだわりを持って世界の食と健康への貢献をめざしています。私は商品の配送費用の算出や、配送の効率化に向けた取り組みを行っています。

経済学部の学びと仕事

杉山　ところで、お二人は、なぜ経済学部への進学を決めたのでしょうか。

鈴木　私は世界情勢に関わるものが面白かったし、先進的なことを学ぶには経済学部かなと思っていました。

大野　私は何をやりたいとか特別な目的があったわけではないんですが、高校の政治経済の授業がすごく面白くて。店で物ひとつ買うのも経済活動、経済って実はとても身近なものと知って、経済学部への進学を望むようになりました。それに就職するとき、経済学部ならいろいろな分野に進むことが出来るのでは、とも思いました。

杉山　実際に経済学部で学んだことは現在のお仕事に役立っていますか？

鈴木　私は学生時代から新聞をよく読んでいました。現在は仕事柄、日々世界の情勢と向き合っていますが、そういった癖がつけられたことが今に結びついたといえます。それは経済学部ならではだと思います。

杉山　新聞を読む授業もありますが、それが役にたったのですね。

鈴木　はい。最初は新聞を読むにも時間がかかるんです。でも読み続けると意外に面白かったりする。OBOG会などでも後輩たちに紙面の一面だけでも読んでおいたほうがすんなり社会人になれると思うよ、とよく言っています。

杉山　鈴木さんが在籍した細井ゼミは、海外で研修したりしていますね。国際経済、国際関係に強い関心があったのでしょうか。

鈴木　旅行が好きだったので、その興味からスタートして国際経済に行き着いたという感じです。航空機、ハブ空港など「"拠点"からの経済発展」については卒業論文でも触れました。

大野　私にとって一番役に立っているのは簿記の授業とゼミで学んだことです。

杉山　大野さんは東海林ゼミ、会計のゼミでしたね。志したきっかけは何だったんですか。

大野　幸か不幸か（笑）、入学して最初にあったのが東海林先生の簿記の授業で、こんなに面白いものがあるのかと。

杉山　心に残ったエピソードなどありますか。

大野　春と夏の合宿で、3、4日ホテルにこもってビジネスゲームをやるんです。3、4人でグループをつくり株式会社を設立した体で業績を競い合う。商品を売買するタイミングを図り、チームワークを高め競い合いながら、分析を重ねて利益アップを図るのですが、その経験が今の仕事につながっています。ゼミで学んだ分野、つまり経理、物流、在庫管理といった仕事を希望するようになりました。

それと東海林先生のゼミでは日本商工会議所の簿記検定二級を取らないとクビになってしまうんです。なので二級を頑張って取ったんですが、そのおかげで自分の成長をしっかりと自覚することができました。しかも履歴書に二級取得と書ける。三級と違ってそれなりの努力が必要な級だから、面接でも評価してもらえました。

杉山　なるほど。ところで鈴木さんはどうして野村證券を志望したのですか。

新聞を読むことは大切！
一面だけでも読みましょう。

どの業界に進んでも役に立つことを
学べるのが経済学部。

鈴木　一時期、家電屋さんでアルバイトをしていたんですが、その時、物を扱うのが面白いと感じられなくて、銀行、証券など金融の分野に進路を求めるようになりました。そうしていろいろな会社に足を運んだなかで、一番先輩たちが尊敬できるというか、キラキラしてると感じられたのが野村證券だったんです。

杉山　金融のなかでも特に証券への思い入れがあった、というより先輩？

鈴木　途中から次第に証券に寄っていき、他にも残りましたが、最後はやっぱり人で選びました。

杉山　大野さんは、いま勤務されている会社の他にどういった業界、業種を検討しましたか。

大野　医療機器、薬品メーカーなどの医療関係ですね。なくならない分野なので確実に生きていけるだろうと。あとは自分自身が以前、卵アレルギーや花粉症があったので、アレルギーに関心の高い会社などに絞って考えました。

杉山　キユーピーも食と健康への貢献を目指す企業なので、一貫していましたね。

女性が働く上で

杉山　それでは少し話は変わりますが、女性がフルタイムで働くうえで大変だと思うことはありますか。

鈴木　うちの会社は福利厚生が充実しているので、産休、育休後に復帰する女性社員は多く、二人目、三人目という方もいらっしゃいます。男性でも今は育休を取ることができる制度がありますし、男女平等な環境と言えます。結婚後、相手の転勤に合わせて勤務先を変更することも可能です。なので女性だから大変だとか、そういうことは感じていません。

杉山　逆に女性でよかったと思えることはありますか。

鈴木　お客さまは千差万別なので、相性とか信頼してもらえるかという観点しかないんです。女性であることのメリット・デメリットは感じないです。仕事内容も男女同じですし、働きやすいですよ。

大野　私の会社も鈴木さんと同じで男女平等です。女性が管理職に就くことも増えてますし、女性だけでなく男性の育休の取得も呼びかけられていて、休暇を取りやすい職場だと感じています。

杉山　以前と比べてずいぶん男女平等になりましたね。

経済学部でよかったこと、メッセージ

杉山　では最後にご自身の学生生活を振り返って、國學院大學の、また経済学部の良かった点、受験生や在校生へのメッセージをお願いします。

大野　私自身はゼミに入り好きな分野に特化した学びを得られたうえに、教授の先生方にも親身になって就職の相談に乗ってもらうことができました。そういうところがとてもよかったと思っています。

杉山　鈴木さんはいかがですか。

鈴木　國學院大學って渋谷というすごいところに立地していますよね。全国から修学旅行生がやって来る。国内外の観光客が毎日大勢押し寄せる。そんな地に毎日授業を受けに通うわけです。誘惑が多い街かもしれませんけど、そこはある意味ブランドですよね。

学生にはなるべくいろんな企業に足を運んでもらいたいですね。そういう経験がすごく貴重だったと感じることは多いんです。会社の社章を付けてからはもう、おいそれとは本社ビルには入れない。学生の特権として、いろいろなところに足を運ぶことをお勧めします。

大野　大学生活での学びや経験は一生残ります。授業や基礎演習で一緒だった学生同士、授業内容について教えあったりプリントをもらったりと輪が広がり楽しいです。特に経済学部での学びは社会に出てどのジャンルでも必ず役に立ちます。まだやりたいことが見つからない方も、何か一つ一生懸命取り組むことを見つけて充実した四年間を送って素敵な社会人になっていただきたいと思います。

杉山　本日はお忙しいなか、どうもありがとうございました。お二人の益々のご活躍を期待しています。

ケイジョたちの学びと仕事

そうだ、先生に会いにいこう！

大阪勤務の渕川さんが、帰省のついでに同期の松野さんを誘って研究室に遊びに来てくれました。

Interviewer
田原 裕子 教授

仕事とやりがい

田原　お二人は2008年卒業なので卒業してちょうど10年目ですね。お仕事はどうですか。

渕川　私は入社して6年目までは工場の生産管理課で国内向けと輸出向けトラクターの生産計画など、日々の生産管理を担当していました。現在は本社で国内向け製品の受発注とお客様へのデリバリー調整を行っています。

松野　私は3年くらい売り場でリーダーをやった後、ショップのマネージメントを経験しました。売り上げを伸ばすために、ターゲットを吟味してDMを発送する、売り場のディスプレーを工夫する等々、お取引先の方と協力して。

田原　面白そう!

渕川　私も、新機種の立ち上げに関われたのは面白かったな。排ガス規制に対応する新機能を搭載したトラクターを私が所属していた工場ではじめて製造した時です。私は一番年下なのにコントロールポジション。計画が遅れないように各部署に指示を出さなきゃいけないけど、最初は図面も読めないし、部品の知識もない。でも、そこを理解しておかないと発言に説得力がないから、現場に聞いて必死に勉強しました。チームでやる仕事は好きですね。

田原　最近はどう?

渕川　同じ社内でも作る側と売る側の論理の違いがあって。今はお客様や営業さんの声を直接、聞ける点が面白いですね。工場での経験を活かして、限られた生産キャパシティの中でお客様や営業さんのニーズをフィットさせるのが自分の持ち味かな。

松野　私は、係長になって仕入れを任されるようになった時は大変でした。リスクと利益を考えてメーカーさんや問屋さんと交渉しながら、仕入れの方法を自分で判断して選択しなくちゃいけない。その判断で会社の利益が変わってくる。利益をコントロールするんです。

田原　難しそう!

松野　でも、それが面白いということに最近気がついて。仕事はいまが一番楽しい。この2年で係長として新しく知る仕事とか、目標とか、部下の育成とか、全部自分で考えて、やりたいことを表現できる。それがすごく楽しい。10年働いて仕事の面白さがわかるのかなと。

渕川　私も今の部署に来て3年目で、いま求められているのは後輩に対する育成指導。総合職で入っているので全体をどうまとめていこうかと上司と相談しながらすすめているところです。

田原　すごいなあ。すっかり中堅社員。大人になったねぇ。

渕川　中堅になっちゃいましたね。後輩にモノ申す立場に。

松野　32ともなるとね。

大学で学んだこと

田原　正直なところ、10年前は想像もつかなかったな。二人から図面とか利益とかって言葉が出てくるなんて。

渕川・松野　私も～(笑)

渕川　でも、お世辞じゃないけど、ゼミの経験がすごく役に立っていると思う。経済学部に入って、ゼミに入って、卒論を書き上げた。それって一つ大きなものを越えたってこと。うちの会社は理系が多いこともあって、卒論は書いていて当たり前。入社して最初の自己紹介で、大学でどんな論文を書いたのかを質問される。「私、卒論書いてません」なんて口が裂けてもいえない状況。でも、私はちゃんとやったので、負けないぞって思えました。

田原　涙が出るくらいうれしいお言葉!

松野　私も卒論は途中で挫折しそうになったけど、みんなに支えてもらってがんばれた。これまでの人生であんなにがんばったことはないってくらい。いい経験になったし、自信にもつながりました。社会人になった時も、結婚した時も、大学でどんなことを学んだのか聞かれたけど、経済学部でこれを学びましたって具体的に話せるネタがあるってすごく大きい。

渕川　学問として仕事に直結するかどうかはともかく、モノの見方とか捉え方とか。いろんな視点から物事を考えられるようになった。

女性が働く上で

渕川　私が入社した当時、まわりは男性総合職ばかりで、どう付き合えばいいのか最初は戸惑いました。まずはうまくコミュニケーションが取れるように努め、仕事でわからないことは素直に教えてくださいとお願いするところから始めました。所属先でうまくいって、それがどんどん広がっていったんだけど、人間対人間、そこでの踏ん張りが、今の自分がいたかいないかの分かれ目だったと思う。それに今は女性の採用がすごく増えて、女性ならではの働きにくさは減っていると思います。

田原　松野さんはどう? 今は産休中だよね。

松野　うちは全体的に女性が多く、売り場のパートさんや販売員さんもほとんど女性。女性どうしだから話しやすい。話す中で信頼関係も生まれるし、不満が出てくれば解消できる。両立支援のための制度も充実しているし、先輩のママさんを見ていても使いやすそう。昔は子供ができたらやめようかとも思っていたけど、今は辞めるなんて考えられない。

田原　就活の時、ファミリーフレンドリーな会社かどうかとか、考えて選んだ?

松野　まったく!　売り場づくりがしたいってことしか考えてなかった。入社してみたら女性に優しい会社だった。

渕川　私は結構、見たよ、福利厚生は。あと、ジョブローテーションがあるかどうか、っていうのも基準にしました。いろんな仕事に携わることができれば、自分の可能性が伸ばせるって思っていたから。

田原　すごい!そんなことまで考えてたんだ。10年目にして初めて知った!

株式会社そごう・西武
そごう大宮店販売部
インテリア・高級雑貨部タオル寝具係
松野 三保子さん(旧姓山口)
経済ネットワーキング学科2008年3月卒業

株式会社クボタ
農機国内管理部ロジスティクスグループ
渕川 雅美さん
経済ネットワーキング学科2008年3月卒業

國學院大學でよかったこと、メッセージ

渕川　一生ものの友だちができたこと。私たち二人はゼミもクラスも一緒だったんだけど、卒業して10年経った今でも連絡取り合ってるし、サークルの仲間ともつながってる。社会人になってからでは友だち作るのに苦労する。転勤した後も連絡を取り合う人ってなかなかないからね。

松野　建物がきれいでおしゃれなところもいいよね。それに、ほどよい規模のキャンパスだから、学生どうしはもちろん、先生とか職員の人ともコミュニケーションが取りやすくてアットホームな雰囲気がある。だから社会に出てからたまたま同窓生に出会えたりするとすごく嬉しいんですよね。あるあるトークで盛り上がったりして。スポーツ選手が國學院の出身だと愛校心むき出しで応援しちゃう。野球とか、駅伝とか観てても頑張れっ!て。

渕川　就活時はもちろん、友達をつくりやすい環境づくりや、ゼミを選ぶ手助けなど、いろいろな機会が設けられていて、おかげで親しい人ができたし、自分の興味に合ったゼミにも入れてすごくいい経験ができた。相談にもよく乗ってくれて、とても親切な大学だと思います。

田原　二人は経済学部や大学が提供する機会をフルに活用して、たくさん学んで、経験してくれて、それが現在の活躍につながっていると思うと本当にうれしいです。最後に、國學院大學に進学したいという後輩、受験生や新入生に向けてメッセージをお願いします。

渕川　出会った仲間と何かをやってやろうじゃないか、というところに成長するチャンスってあると思うんです。必要なのは積極的になること。受け身ではなくポジティブに、何かに向って一生懸命取り組んでください。

松野　まずは大学生活を楽しむこと。勉強でも、趣味でもいいから興味のあることに突き進んで欲しい。大人になったら時間がないから、学生のうちにできることを思いっきり楽しんで、個性のある社会人になって欲しいですね。

Contact Information お問い合わせ

國學院大學 経済学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03(5466)0342 **FAX** 03(5466)2340 **E-mail** ecosiryo@kokugakuin.ac.jp

國學院大學経済学部

このパンフレットの内容は平成30年3月時点のものです。